偏見にNo!
糖尿病のある人は、
あなたと同じ社会で活躍できる人です。

近年、糖尿病の治療は飛躍的に向上し、

一病息災を実現する人が増えました。

それでもまだ、

糖尿病への誤解や偏見のために、

就学や就職、結婚、マイホームの夢を絶たれる人がいます。

ご一緒に、糖尿病の今を考えてみませんか?

「糖尿病」から、世界共通語の"Diabetes"「ダイアベティス」へ

公益社団法人 日本糖尿病協会　一般社団法人 日本糖尿病学会

糖尿病とともに生きる人の可能性や未来を偏見で摘み取らない社会づくりに私たちは取り組みます。

糖尿病協会　アドボカシー　検索

※画像はイメージです。

「糖尿病」から、世界共通語の〝Diabetes″=「ダイアベティス」へ

今、糖尿病医療の世界は、変わりつつあります。治療の進歩とともに、糖尿病のある人一人ひとりが、病気があっても人生を充実させるためのお手伝いをする、アドボカシーの考え方に基づく医療を提供するという考え方が生まれています。

糖尿病の治療でよく耳にする血糖管理。血糖の自己管理は大切ですが、それが人生のすべてではありません。医療者と共に、二人三脚で病をコントロールできる時代がきているのです。

糖尿病があっても、なにひとつやりたいことを阻害されず、自分の夢を実現できる社会。一病息災で、生き生きと暮らすことができる社会。

そんな社会を実現するのは、わたしやあなたの、糖尿病に対するほんの少しの関心です。正しく知ることは、あなたの健康に役立ち、糖尿病のある人へのやさしい理解につながります。

わたしたちは、皆さんに協力いただきながら、少しずつ糖尿病の新しいイメージを形づくっていきたいと考えます。

「糖尿病」から、世界の共通語である〝Diabetes″「ダイアベティス」へ。

日本糖尿病協会は、糖尿病への偏見をなくすアドボカシー活動を通じて、皆さんがご自分のペースで治療に取り組み、充実した人生を送ることができるよう、これからも力を尽くして参ります。

unite for diabetes

公益社団法人日本糖尿病協会